

3 情報発信

- 1) 季刊誌 しんゆり人
- 2) インターネットメディア

1) しんゆり人

- 第10号（2022年9月発行）
- 7,000部発行
- 小田急線各駅、行政施設、商業施設、金融機関などで配布
- 麻生区制40周年 特別編集号
- しんゆりの履歴書としてまちづくりの歩みを特集

新百合ヶ丘のまちが好きになるエリアマガジン

NO.010 2022 AUTUMN

しんゆり ZINE

ももくり3年かき8年。
麻生区はなんと40年。



INSPIRE HUB SHINYURI
つどい・つせがり・あそぶあそび
— みんなが楽しく しんゆりへ —

新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム
<https://inspire-hub-shinyuri.com/>



02



03



04

01. 2000年を迎えるカウントダウンイベントで賑わう新百合ヶ丘駅南口ペデストリアンデッキ。02. 新百合ヶ丘のさまざまなイベントの拠点となった1995年の「しんゆり・芸術のまちづくりフェスティバル」のシンポジウム。脚本・演出家のなじたあさやさん、昭和音楽芸術専門学校長の大谷利子さんなどがパネラーに。03. イオンスタイル新百合ヶ丘が建つ前の敷地では光を使ったインスタレーションが設置された。04. 第1回「あさお区民まつり」。向と書つても麻生区、新百合ヶ丘のまちを挙げたイベントの源流。



01

しんゆりの
履歴書
麻生区区制40周年
記念特集②
Shinyuri
Resume

活性化の処方箋は「芸術のまち構想」

文／編集部

新百合ヶ丘駅が開業して18年たつた1992年、「マップし専門店街」と「小田急エルミロード」がようやくオープン。新百合ヶ丘にも商業施設ができ、街としての姿になってきます。まちが落ち着いてくるとそれだけでは物足りなくなってくる。新百合ヶ丘の活性化の処方箋は「芸術のまち構想」でした。

その一環として95年10月には「しんゆり芸術フェスティバル」が開催されました。「しんゆり映画祭」「しんゆりアート市」「環境芸術展示」が行われ、11月には「芸術のまち構想」シンポジウムを開催。作曲家の團伊玖磨さんが基調講演、芸術がまちを創る一をテーマにパネルディスカッションも行われました。市民、企業、行政がしっかりと三角形を作って街づくりを進めようと盛り上がったこと記録にあります。

この、まちづくりの取り組みは2000年という新しい時代を迎える年に一つのピークをつくりました。夜11時過ぎからコンサートなどが始まり、0時を前に新百合ヶ丘駅南口ペデストリアンデッキ集まった多くの人たちが、カウントダウンをしたのです。KAWASAKIしんゆり映画祭は、市民ボランティアたちの手で今年で第28回を迎えました。アト市は、2014年に「しんゆりマルシェ」として生まれ変わり、2018年からは新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムが主催する「しんゆりフェスティバルマルシェ」として続いています。

また、2007年に昭和音楽大学が新百合ヶ丘に移転開校、万福寺の土地区画整理事業が竣工し「川崎市アートセンター」がオープンすると、新百合ヶ丘に関わるプロの芸術家による公演の機会がさらに増え、2009年には「川崎しんゆり・芸術祭（アルテリッカしんゆり）」が開催され、毎年5月の連休を中心に幅広いジャンルの公演が開催されています。



01. 第1回「Kirara@アートしんゆり2007」のイルミネーション
02. 「しんゆり・芸術のまち」PR委員会発足 03. 大学生が作った「しんゆり Campus」にはデートプランやスイーツ特集も 04. Kirara@アートしんゆりのロゴにもつかわれた PR 委員会のロゴ、「しんゆり・芸術のまちづくり」に引き継がれている



しんゆり
履歴書
麻生区制40周年
記念特集④
Shinyuri
Resume

そして、コンソーシアムにつながる

文／編集部

2007年に、昭和音楽大学が厚木から移転開校、万福寺の区画整理事業が完成、「新百合山手」のまちづくりが始まり、小劇場と映像館の複合施設「川崎市アートセンター」がオープン。「新百合ヶ丘・第二のまち開き」といって、川崎市が1年限定の予算をつけ、昭和音楽大、日本映画学校、小田急電鉄、三井不動産など企業も参画して、「しんゆり・芸術のまち」PR委員会が作られ、新百合ヶ丘の芸術のまちとしてブランディングが始まった年でもあります。ホームページがつけられ、芸術のまちとしてイベントの紹介や地域の飲食店、スイーツ特集など、さまざまな情報が投稿され、専修大学の学生の企画で「写メ・コンテスト」、大学生のためのしんゆりガイド「しんゆりキャンパス」なども発行されました。

PR委員会は「しんゆり芸術のまちフォーラム」として継続、その事務局がNPO法人しんゆり・芸術のまちづくりとして法人化され、いまま芸術のまちとしてのブランド維持に貢献しています。

いまではすっかり冬の風物詩ともなったイルミネーションイベント「Kirara@アートしんゆり」もこの年に始まりました。「PR委員会」で実働を担う世代が、「第二のまち開き」というなら何か思い出に残るイベントができないか、「街の真ん中に大きめのツリーがあって、家族連れや若い人たちが写真を撮って、くれたら「ふるさと」としての思い出になるのでは？」と盛り上がり、秋の初めに動き出した呼びかけは新百合ヶ丘商店会や企業からの協賛金あわせて約1千万円の資金を集めて実現します。

10年を節目に、実行委員会を「新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム」が支える形で継続され、今年で10回目。思いつきともいえるイルミネーションイベントが、持続的なまちづくり組織を作るきっかけになったのです。

2) インターネットメディア

- ホームページ改訂
- YouTubeを活用、しんゆりチャンネル創設
オープンミーティングなどのアーカイブを蓄積
- メルマガ配信で会員企業や個人向けに情報配信

ihs-shinyuri.com

6/17(土)・18(日)「しんゆりフェスティバル・マルシェ vol.42」開催!



地域ニュース

伸和コントロールズが東南アジア初拠点設立！サービス体制の拡充へ

2023/06/02



6/20~22 vs ロッテ 18:00 試合開始

イベント

生ビール半額！読売ジャイアンツ球場「初」ナイターゲーム開催記念

2023/06/01



オープンミーティング

【受付中】6/14(水)オープンミーティング「武蔵小杉のまちづくりとエリアブ...

2023/05/26



地域ニュース

5/27に「新百合ヶ丘駅南口 春のクリーンアップ大作戦」を実施しました！

2023/05/30

イベント



6/20~22 vs ロッテ 18:00 試合開始

イベント

生ビール半額！読売ジャイアンツ球場「初」ナイターゲーム開催...



イベント

みんなで守るまちの景観「グリーンフレンズフェア」和やかに開催



イベント

【コンソーシアム会員様限定】新百合ヶ丘駅南口「春のクリーン...



イベント

子どもたちにキラキラとした深い学びを！「マチカドこども大学...